

# 三県架橋建設促進・長島町制施行20周年 記念事業第40回カヌー長島海峡横断大会 最後まで全力をつくして



フェリーからの声援にパドルを立てて応える選手ら



牛深港から出発。順調な滑り出し



最後はみんなで記念撮影



宣誓する山下さん



交代後は、応援に専念

島原・天草・長島の三県架橋構想の機運を高めることを目的に第40回カヌー長島海峡横断大会が8月30日にあり、本町のほか、天草市や与論町、長崎県南島原市の児童生徒合計65人が参加しました。

牛深港で行われた開会式では、川添健町長らが激励の言葉を述べた後、山下光煌さん（平尾中3年）が「三県架橋実現のためみんなで力を合わせ、練習の成果を十分に発揮し、最後まで全力で漕ぎ切る」と元気に宣誓しました。

午前11時40分、スタートの号砲と同時に選手たちは牛深港を元気に出発しました。

懸命にパドルを漕ぐ選手たちは、互いに声を掛け合いながら、8キロの道のりを果敢に挑戦。約2時間かけて全員がゴールの蔵之元艇庫に到着し、海峡横断の成功を収めました。

今年で2回目の挑戦となる脇田希彩さん（長島中3年）は「腕が悲鳴を上げている。ゴールできて強い達成感がある」とゴールできたよろこびを話しました。



家族が見守る中ラストスパート